

## 青少年健全育成に関する取組状況について

## 1. 次世代育成基金の運営

昨年4月に創設した次世代育成基金は、区民とともに子どもたちの夢を育てていこうという理念により、趣旨に賛同する区民等から寄附を募っています。

平成24年度は、7月～3月末で、35件4,307,876円の寄附がありましたが、今年度は、誰でも気軽に寄附ができるようにと郵便振替用紙付きの周知チラシを区内の各施設に備え、区広報紙・ホームページ上や、地域の区民団体や産業団体の会合等でPRしたことにより、これまで(10月7日現在)に、127件2,818,529円の寄附が寄せられています。

また、今年予定している基金活用事業では、参加した子どもたちの様子が分かるように、区ホームページ上の「ほっと情報局」において、随時活動の様子を公開することで、参加児童の区民や寄附者に対し、事業の効果を周知することができました。

## 平成25年度次世代育成基金活用事業

事業		内容	対象	参加 予定数	実施 時期
子ども 国内交流	名寄市(往来)	国内交流自治体の小学生相互の文化交流	区内小学生 (4~6年)	25名	7月下旬 8月上旬
	東吾妻町(迎)		区内小学生 (4~6年)	25名	8月中旬
中学生小笠原自然体験交流		区立及び区内私立中学生による小笠原諸島の自然体験	区内中学生	28名	7月下旬
中学生海外留学		オーストラリアウィロビー市への短期留学	区内中学生	15名	10月中旬
交流自治体中学生親善 野球大会(台北開催)		台北市・南相馬市・杉並区の中学生による軟式野球大会	区内中学生	30名	12月上旬
小学生名寄自然体験交流		区内小学生による名寄市の自然体験	区内小学生 (5・6年)	25名	12月下旬

## 2. すぎなみ舞祭の開催、青少年パフォーマンスユニットの結成

ダンスパフォーマンスにより、子どもたちが自ら表現する機会を設け、そこを目標にした活動を通して、地域における子どもと大人が触れ合い、つながりを築いていくように、次のとおり「すぎなみ舞祭」を開催しました。

[日 時]平成25年10月13日(日)午前9時30分~午後4時30分

[会 場]都立和田堀公園済美山運動広場

[参加者]52チーム/1,262人(前年42チーム/1,140人)

[来場者]延べ約12,000人(前年約6,000人)

また、すぎなみ舞祭及びスポーツ祭東京2013のPRユニットとして、小学5年生から24歳までの18人の青少年によるダンスパフォーマンスユニット Cedar Youthを結成し、地域のイベント等でパフォーマンスを披露しました。

杉並区ご当地アイドルとして、今後の地域のイベント等で、ダンスパフォーマンスを披露していきます。

### 3. ユースプロジェクトすぎなみ

これまで中心的に活動してきたメンバーの卒業により、現在、活動しているメンバーは4名という少人数になってしまいましたが、今年度のメンバーは、中高生の新たな居場所づくり検討に関わるほか、児童青少年課が所管する様々なイベントに積極的に協力し、メンバーの増加、組織の活性化に取り組んでいます。

今後は、行政側から提供する中高生に関わる課題等の解決に向けた検討や、中高生ができる社会貢献の取組などを企画立案し、実践していくなど、活動するメンバーのモチベーションが保て、興味が沸くような取組を展開していきます。

### 4. 自己肯定感の醸成事業

済美教育センターと協力して、生徒たち自らが自己肯定や自己有用を考えられる取組を、小学生から中学生に進学して生活環境が大きく変わった中学一年生を対象として冬休みを利用して実施します。取組の内容としては、冬休み中に達成すべき目標を掲げ、その目標に対し、日々自分が達成できたことを短い文章や言葉で自分を褒める一行日記的な記録をつけてもらい、その日記の中から、自己肯定感を意識した川柳や標語をコンクール形式で募集し、上位入賞作品を掲載したカレンダーを作成して配布します。

### 5. 青少年実態調査の実施

これまで5年に1回、青少年の生活実態調査として実施していましたが、今年度の実施については、区の青少年行政に関する満足度や、中高生の新たな居場所づくりに活用する情報の収集のため、中高校生の放課後における活動実態を探る項目を盛り込むなど、今後の青少年行政に反映できる調査を実施しました。

この調査による集計結果については、12月末を目途に報告書を作成する予定です。

[調査期間]小・中・高等学校 5月中旬~6月上旬

一般（１９～２９歳） ７月下旬～８月下旬  
 [調査校] 小学５・６年生 杉並第四、杉並第九、西田、井荻、松庵  
 中学２年生 杉森、井草、荻窪、神明、富士見ヶ丘、向陽  
 高校２年生 杉並、豊多摩  
 一般（１９～２９歳） 無作為１，０００件

また、これまで３カ年にわたって区内の高校２年生に対し実施している「仕事に関するアンケート」については、協力校からの評価も高く、高校生の就労意識向上に大きく影響を与えていることから、今年度も１２月の実施を予定しています。

#### ６．ボランティア体験講座

昨年度まで、中高生の読書活動推進の取組として実施していた「保育園における絵本の読み聞かせボランティア体験」ですが、高校２年生に実施している「仕事に関するアンケート」の結果によると、「保育士」を将来就きたい職業として選択している割合が多いことから、今年度は、保育園の一日保育士体験として実施しました。その結果、中高生の関心も高まり、例年の３倍以上の応募がありました。参加者からは、「実際に保育士の仕事を体験することにより、より一層保育士への夢が高まった。」「保育士の仕事の大変さを実感し、将来を考えるよい機会になった。」等の高い評価をいただいています。

項目	平成２５年度	平成２４年度
内容	保育園一日ボランティア体験 ・参加者説明会 ・直前オリエンテーション ・一日保育士	絵本の読み聞かせボランティア体験 ・絵本の読み聞かせ講習会 ・保育園で実習
実施期間	８／１２～８／３１	８／２３～８／２９
応募人数	６３人	１９人
参加人数	２０人	１９人
協力園	１０園	５園